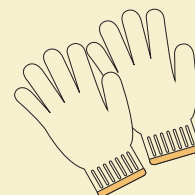
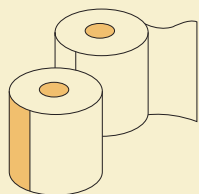
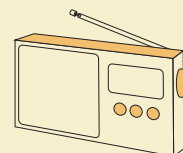
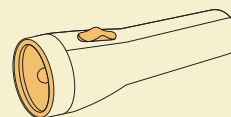
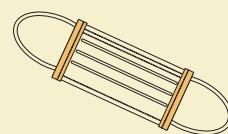
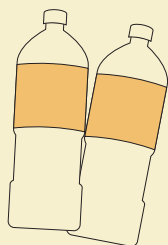
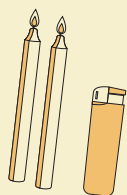


NT

NISSEKI TOKYO

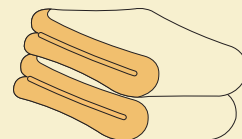
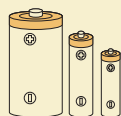
2018
Summer
Vol.18



特集

普段**して**いないことは、
いざという時に**できない**。

～「防災」はじめての一步～



Contents

- 04 平成29年度活動資金の使途報告
- 06 れっどくろす News&Topics
- 特集**
- 08 普段していないことは、いざという時にできない。
—「防災」ははじめの一步—
- 18 Hospital Referral
武蔵野赤十字病院／大森赤十字病院／葛飾赤十字産院
- 21 献血 NEWS
- 22 福祉施設 NEWS
- 23 国際 NEWS
- 24 行け!OLレポーター オカモト★ 日赤とつげきレポ —vol.12 献血ルーム池袋ぶらっと編—
- 25 NT information
- 26 赤十字Supporters
- 27 活動資金協力者(社)・団体のご紹介
- 28 プレゼント
- 30 Rediscovery TOKYO —第11回 中央区・築地—

救 いた い あなたの未来 私 から

第54回 献血運動推進全国大会「標語」コンクール
最優秀賞
岡山高等学校 北川 寛晴



7月は「愛の血液助け合い運動」月間

いつでも患者さんに血液をお届けできるよう、定期的な献血のご協力をお願いします。

安全性の高い血液の確保のために、成分献血と400mL献血にご協力をお願いします。いつでも確実に患者さんに血液をお届けできるよう、1年を通じて継続したご協力をお願いします。若い人たちが、みんなで貢献を変えていく時代です。10代、20代、30代の方のご協力をお願いします。肝炎ウイルスやHIVの検査を目的とする献血は、ご連絡下さい。健康に不安がある方は、かかりつけの医師または保健所等へご相談下さい。

♥ 複数回献血クラブ

複数回献血クラブは、安全な献血用血液を安定的に確保することを目的として運営しています。登録いただいた方に献血用センサーから「献血のお願い」や「献血キャンペーン情報」などのメールが送付、各種特典もご用意します。

携帯電話・パソコンをお持ちの方ははこちらから [複数回献血クラブ](#)

♥ 献血サポーター

社会貢献活動である献血活動を周囲に広げやすくする機会として「献血サポーター」にご参加下さい。「献血サポーター」となった企業・団体には、「献血サポーター」ロゴマークを自社の企業活動等に利用していただくことができます。

携帯電話・パソコンをお持ちの方はこちらから [献血サポーター](#)

献血サポーター

献血サポーターは、献血活動の推進に貢献する方々を応援するための活動です。献血活動の推進に貢献する方々を応援するための活動です。

私たちのジミチな活動は、
皆さまのご協力に支えられています。



東京都支部は、平成29年度、創立130周年を迎えました。
明治20年に創設されて以来、一貫して「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の理念に基づき、赤十字活動を展開してきました。

これもひとえに赤十字事業を支えてくださる皆さまのおかげであり、深く感謝申し上げます。

平成29年度は幸い、東京都内で大きな災害はありませんでした。しかし、首都直下地震発生の予測など、災害の脅威は身近にひそんでいます。今後起こり得る災害に対して救護団体として責務を果たすことができるよう、今後も研鑽を重ねてまいります。

また、災害救護活動だけではなく、防災・減災への取り組みや超高齢社会への対応など、赤十字として取り組むべき新たな課題にも挑戦し、これからも、都民の皆さまに寄り添う「とつき」の赤十字として、信頼され、安全・安心な暮らしを守り続けられる存在となるよう努めてまいります。

平成29年度の活動資金の使途について左項にてご報告いたします。今後とも、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

救護・救援活動

突発的な災害に対応するには、日々の備えが重要です。東京都支部では必要な救護資機材を整備するとともに、平成29年度は、多くの訓練・研修会を開催。関係機関との訓練も積極的に行い、連携を深めています。

25.1%

奉仕団・青少年赤十字の支援

地域のつながりや特技を生かしボランティア活動を行う赤十字奉仕団の活動推進や、学校教育を通じて人道の大切さを伝える青少年赤十字の活動充実など、さまざまな事業を支援・実施しています。

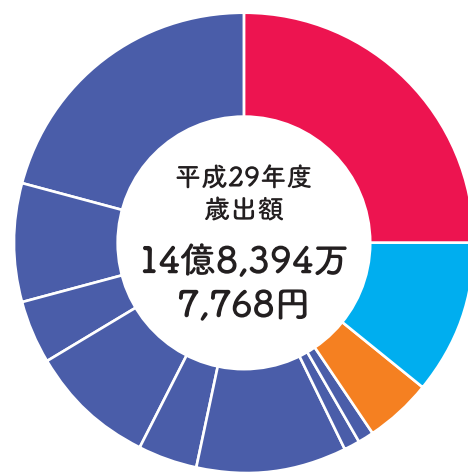
10.9%

救急法などの講習普及活動

災害時だけではなく、日常におけるけがや病気などのリスクへの対応も、多くの苦しむ人を救うことにつながります。社会のニーズや受講者の視点も踏まえながら、多くの方に受講していただけるよう工夫しています。

4.6%

献血推進	1.2%
看護師養成	1.0%
赤十字会員の加入促進	10.8%
広報活動	4.0%
社会福祉施設の運営	9.1%
社屋修繕等	4.3%
資金積立(災害等・施設整備)	8.2%
活動の運営管理	20.8%



高校生が大活躍！ 上野動物園で迷子相談ボランティア

家族連れでにぎわうゴールデンウィークの上野動物園で、今年も高校生の青少年赤十字メンバーが迷子相談ボランティアとして活動しました。4月28日から5月6日のうちの7日間、迷子防止のために迷子札の配付や迷子の搜索、園内パトロールなどの活動にのべ27校222人が参加し、86人の迷子を無事、保護者の元に届けることができました。

参加メンバーからは、「自分たちの活動が迷

子の発生を防ぐことにつながり、保護者に会えた迷子の安心した姿を見て、「困っている人の役に立てた」ことを実感できて良かった」「この活動で学んだ協調性の大切さを、今後の活動に活かしたい」などの感想がありました。

青年学生赤十字奉仕団や個人ボランティアも、運営スタッフとしてのべ46人が参加し、青少年赤十字メンバーの活動をサポートしました。



積極的に声をかけ、来園者に迷子札を受け取ってもらっています



迷子札を配付する青少年赤十字メンバー



不安をやわらげるよう優しく声をかけます



園内に設置された迷子相談所

都内各地に赤十字フラッグを掲出 ～赤十字運動月間～

日本赤十字社は、5月を赤十字運動月間として、赤十字を身近に感じていただき、活動への理解を深めていただけるよう、さまざまなイベントやキャンペーンを展開しています。

今年も東京都支部がある大久保・新宿、さらに表参道の街路灯にフラッグを掲出。地域の方々のご協力のもと赤十字をPRしました。

また、期間中には、「レッドライトアッププロジェクト2018」として全国46か所のランドマークや企業のご協力をいただき、赤いライトを灯しました。東京では、表参道を赤い色で彩りました。



表参道ヒルズ(左)、キディランド原宿店(右)のライトアップ



新宿通り(左)と大久保通り(右)に掲出したフラッグ



ラフォーレ原宿のライトアップと表参道に掲出したフラッグ

JALFIOのメンバーが
赤十字サポーター募集をPR

赤十字では、毎年5月の赤十字運動月間を中心に、赤十字活動をPRし、赤十字事業にご賛同・ご協力いただける方を募集する「赤十字サポーター募集キャンペーン」を実施しています。5月17日には、品川駅でJAL労働組合客乗支部赤十字奉仕団(JALFIO)の皆さんがキャンペーンに協力して下さいました。素敵な笑顔と心のこもった呼びかけで、行きかう人々に赤十字をPRしていただきました。



PR活動に参加してくださったJALFIOの皆さん

室内でも学べます！
教員対象の水上安全法講習

ブルーシートの海から人形を助けます

学校の先生を対象とした水上安全法の短期講習が5月28日、東京都支部で開かれました。この講習は、会議室で学べるのが特徴。講義とシミュレーションがセットになったものです。

参加した先生からは「自分の身を守ることをつい忘れがちになることを、実践を通して知ることができました」などの感想が聞かれました。

首都直下地震にどう対応する!?
受援計画などの検討会を実施

東京都支部は5月24日、都内の日赤災害医療コーディネーターとともに首都直下地震が発生した際の受援計画等について話し合う検討会を開催しました。

検討会では、東京都が新たに策定したガイドラインや災害訓練の実施概要など、最新情報を共有するとともに、災害時における都内での活動・支援の受け入れ等について、具体的な計画の検討を行いました。



検討会のようす

赤十字病院でフェスタを開催
来場者は応急手当の体験も

大森赤十字病院で実施されたフェスタ

赤十字運動月間にあわせ、毎年5月は都内の赤十字病院がイベントを実施しています。今年は武蔵野赤十字病院が5月12日に、大森赤十字病院が5月26日に実施しました。

病院を利用している方や地域の方々を招き、被災地復興支援バザーや災害救護コーナーなど、それぞれ工夫を凝らしたプログラムで、来場者に楽しい時間を過ごしていただきました。

革靴生産日本の浅草
売上の一部を東京都支部に

ゴールデンウィーク初日の4月28日と29日、台東区の玉姫稲荷神社で「こんこん靴市」が開催され、5万人の来場客でにぎわいました。浅草の地場産業として革靴生産が根づいたことに感謝し、愛用した古靴の供養をすることで、今後の発展と健康を祈願します。

実行委員会の轟会長(写真左)は「社会への感謝と貢献ができるお祭りにしたい」として、毎年チャリティーボックスの設置に加え、売上の一部をご寄付いただいています。



2004年から続くチャリティー寄贈式のようす

赤十字病院で初めての鍼灸課
妊産婦の負担を軽減

妊産婦一人ひとりにあわせた施術

妊娠中に鍼灸を受けられることを知っていますか？ 葛飾赤十字産院では、妊産婦さんの痛みや不調を取り除くため鍼灸を選択肢の一つとしており、6月1日から「鍼灸課」を設置しました。

産科知識をもった鍼灸師が、医師・看護師と情報共有しながら、一人ひとりのニーズにあった安心・安全な施術を行います。妊産婦さんからも「病院内にあるので安心して施術を受けることができる」と好評です。

普段していないことは、 いざという時にできない。

～「防災」はじめての一步～

「災害はいつか起こる。」

日本は世界でも「地震が多い国」と認識され、台風や大雨、土砂災害など、これまでに多くの自然災害によって大きな被害を受けてきました。過去の災害を教訓として、皆さんはどんな防災の備えをしていますか。

普段していないことは、いざという時にできません。日頃から災害に関心を持ち、その対策について考え、**必要なものを準備**しておくことは、自分や家族のいのちを守るためにとても重要です。

今回の特集は、一人ひとりが災害に対して備えることの重要性を改めてお伝えするために、「**防災**」をテーマにしました。

これを読んだ皆さんに新しい気づきがあり、自分や大切な人たち、そして子どもたちの未来を守るために何ができるのか、考えるきっかけとなることを願っています。



都内救急車の運用台数

253台*

大規模災害の時には多くの重傷者が発生することが予想されていますが、救急車の数は限られており、あなたの元に来ることができないかもしれません。応急手当で悪化の防止に努めるなど、自助、共助による対応も重要です。

※出典：東京消防庁発表資料（平成30年1月10日）

被害想定

避難者は最大 約 720万人*1
(断水・停電の影響を受けて発災2週間後)

都内には、避難所2,937か所（協定施設等を含む）、二次避難所（福祉避難所）1,209か所*2が確保されていますが、収容人数はあわせて約328万人。これに対して、避難者の予測は最大720万人。避難所に入ることができない可能性があることから、自宅での生活やその他の方法を想定するなどの準備が必要です。

出典：※1 避難者最大数＝防災対策推進検討会議 首都直下地震対策検討ワーキンググループ（平成25年12月19日公表の最終報告）
※2 都内避難所数等＝東京都防災ホームページ（平成25年4月1日現在）

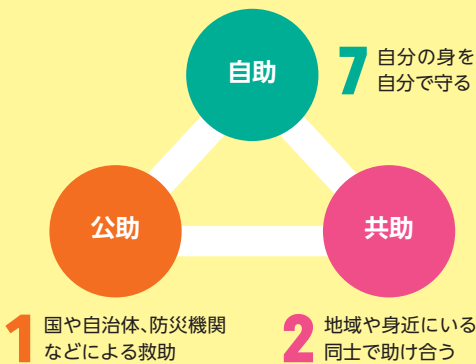


付録

特集の付録として、28ページに災害時の持ち出し品・備蓄品チェックリストを添付しました。ぜひ、ご活用ください！

「自助」「共助」「公助」の割合は 7：2：1

災害時に必要な3助



災害時、自分のいのちは自分で守る。災害が起きたらどんな被害が生じるのかを予測する「想像力」が必要。

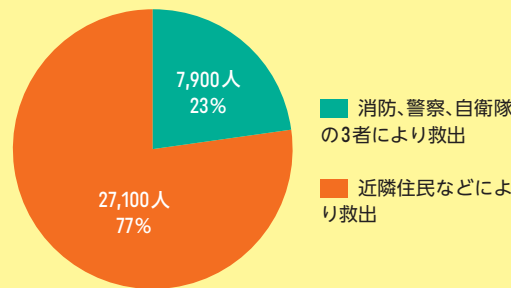
出典：日本赤十字社東京都支部『東京大地震への備え』

阪神・淡路大震災で生き埋めになった人を助けたのは、近隣の住民など

約 77%

共助がいのちを救う！

阪神・淡路大震災では6,000人を超える人が犠牲に。助けられた3万5,000人のうち約8割が、家族や近隣者により救助されたと言われています。



出典：内閣府「平成15年版防災白書」

今後30年以内の発生確率 約 70%

首都直下地震

（南関東で発生する M7 程度の地震）

この表からわかることは、首都直下地震はいつ起きてもおかしくないということ。

30年以内の発生確率の比較	
災難の種類	確率(%)
航空機事故で死亡	0.002
交通事故で死亡	0.2
火災で死傷	0.24
火災で罹災	1.9
交通事故で負傷	24.0
首都直下地震が発生	70.0
南海トラフ地震が発生	70.0～80.0
東海地震が発生	87.0

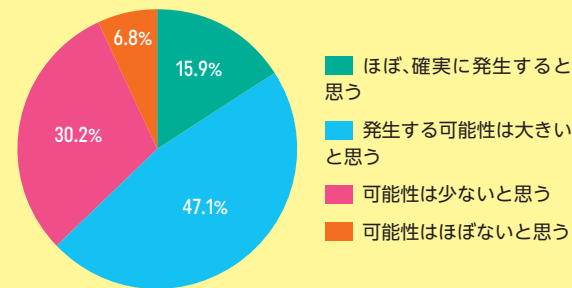
出典：文部科学省地震調査研究推進本部地震調査委員会「地震の将来予測への取組」ほか資料

大災害が発生する可能性があると考えている人

60%以上

災害に対する意識

「今、あなたが住んでいる地域に、将来（今後30年程度）、大地震、大水害などの大災害が発生すると思いますか」という問いに対して。



出典：内閣府「日常生活における防災に関する意識や活動についての調査結果について」（平成28年5月31日）

首都直下地震がいつ起きてもおかしくないと言われている今、私たちは何を知っておくべきなのでしょう。防災や減災（災害時の被害を最小にするための取り組み）に関わる基礎知識を、さまざまなデータから見えてみましょう。

知っておこう

数字で見る

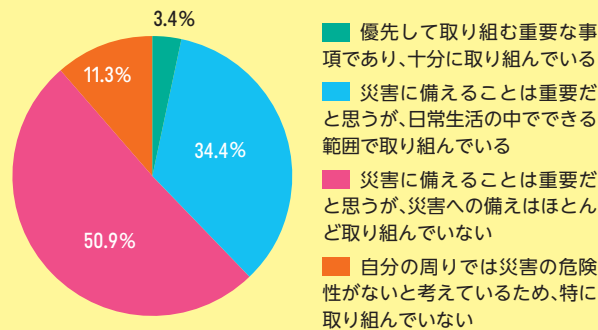
災害時の現実

災害への取り組みが足りないと感じている人

50%以上

災害の「備え」への意識

「あなたの日常生活において、災害への備えは、どのくらい重要なことですか」という問いに対して。



出典：内閣府「日常生活における防災に関する意識や活動についての調査結果について」（平成28年5月31日）

の小・中学生の生存率は99・8％でした。

災害が大規模になるほど、外部からの支援で救えるいのちは少なくなり、「自助」「共助」の力が重要になってきます。

被害を最小にするために赤十字ができること

——セミナーで「自助」「共助」の力を高めよう？

国の調査によると、多くの方々は、災害時の「自助」「共助」の重要性に気づいていません。しかし、具体的に何か備えているかという、行動には至っていないのが実情です。

日本では近い将来、首都直下地震と南海トラフ地震の発生が予測されています。どちらも、日本の国力に致命傷を与える大災害です。

赤十字は「人道」を掲げ、「人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努める」ことを任務としています。つまり、災害からの被害軽減も私たちの任務。災害時に力を発揮する「自助」「共助」の力を高めることも重要な活動の1つであると考え、赤十字防災セミナーの普及に力を入



けがをした時、自分たちで手当てできるように訓練しよう

ることとしました。

防災は地域づくり 住民のつながりがカギ

——セミナーでどのようなことが
習得できるのでしょうか？

赤十字防災セミナーでは、防災・減災に関する知識や意識、技術の習得だけではなく、地域で災害発生時にリーダーとなる人々の育成をめざしています。特に、地域コミュニティでリーダー的な役割を果たす方々に、防災の知識を身につけてもらうことを重視しています。

また、大切なのは、セミナーを通じて地域の住民の交流を促進すること。それによって「自助」「共助」の力が向上するからです。学ぶプロセスが重要なので、住民同士で話し合えるよう、セミナーではグループワークが中心です。

このセミナーは自分の住んでいる地域で開催することもポイント。普段顔を合わせる住民たちでセミナーを受講することに意味があるのです。

地域の防災力を高めるには、地域づくりが何より重要です。私たちは「防災」の視点から地域づくりに貢献したいと考えています。

「赤十字防災セミナー」がめざすもの
住民のつながりと
地域力で
災害を乗り越えるために

災害時に住民自身がいのちと健康を守れるよう、日本赤十字社では「赤十字防災セミナー」の普及を進めています。このセミナーが何をめざし、どんな内容なのか、救護・福祉部の白土直樹次長にお話を伺いました。

救護活動から得た教訓 「自助」「共助」の重要性

——「赤十字防災セミナー」を始めたきっかけは？

阪神・淡路大震災や東日本大震災、最近では熊本地震などにおいて、日赤は発災直後から救護班を派遣しました。それによって救うことのできたいのちも数多くあり

ますが、大きな災害ほど発生直後に亡くなる人の割合が高く、救護が間に合わない現実を目の当たりにしてきました。

一方、阪神・淡路大震災では、神戸市の被災者のうち8割以上は地元住民が救助しました。東日本大震災でも、「津波でんでんこ」（津波が起きたらでんでんばらばらに1人でも高台に逃げる）の教えで避難訓練を重ねてきた金石市内



災害図上訓練。自分の地域の特徴と防災資源を把握・理解する

今回、取材で
お話を聞いたのは



日本赤十字社 事業局救護・福祉部次長

白土 直樹

赤十字防災セミナーの詳細についてはこちら
<http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/seminar/>

赤十字防災セミナー

検索

水や食料の備えは話題になっても、トイレの備えには思い至らないことが多い。それは、トイレや排泄の問題は話題になりにくいからだと思います。普段話題にのぼらないことは「備え」を考えるときにイメージできない。日常的に

普段からトイレのことを 周囲と話してみよう！

水洗トイレは、給水・電気・排水・処理（下水道・浄化槽等）・プライバシーが守られる空間、これらがすべて揃って成り立つシステムです。どれか1つでも損なわれると機能しなくなります。普段は、ボタンやレバーひとつでうんちやおしっこを簡単に流してくれますが、ビルや集合住宅は電気がなければ水が供給できないし、下水管が破損すればトイレも排水できなくなります。大地震などによって停電・断水・給排水設備や処理施設の損壊が起きると、水洗トイレはとたんに使えなくなります。

水洗トイレは「システム」 特徴を理解しよう

トイレについて話しておくことは、実は災害時の備えにつながります。まず、家族や職場の同僚とトイレのことを話してみませんか？

災害時、飲み水をどのくらい備えておけばいいか、わからないという人も多いですね。トイレについてはなおさらです。あなたは1日何回トイレに行きますか？1回のおしっこの量はどの位ですか？備えるには、まず自分の排泄を知ることが必要です。

トイレの回数や排泄量は人によって異なります。家族のトイレの回数を知り、家族分の携帯トイレを備えておきましょう。

トイレは災害時、「いのち」に直結する

災害時のトイレ問題は、2つの問題を引き起こします。

まず、一人ひとりの健康への被害。例えば、避難所のトイレを思い浮かべてください。狭い、汚い、夜は真っ暗、寒い、行列、男女共同、和式…。ひとつでも「嫌だな」と思うことがあると、なるべくトイレに行かないようにするために、人は水分や食事を控えがちになります。被災者は、極度の緊張状態や睡眠不足



NPO 法人
日本トイレ研究所
加藤 篤 代表理事
<https://www.toilet.or.jp>

災害時のトイレ事情と、私たちにできること

災害が起きた！ その時、トイレをどうする？

災害時、緊急に必要なのは、寝る場所に食べ物、そしてトイレ。でも、トイレの対策や備えは意外と後回しになりがち。いざという時のためにどう備えておけばいいのか、災害時のトイレ事情に詳しいNPO 法人日本トイレ研究所の加藤篤代表理事にお話を伺いました。



流せず、手も洗えないトイレ



液状化で損壊したマンホール



災害時のトイレの大切さと使い方を伝えるポスター

トイレの備えがないと、自宅での避難生活は続けられません。携帯トイレは各家庭で最低でも1週間分、備えておきたいところです。しかし、携帯トイレはし尿を袋にためておくものなので、使った

災害時はトイレを使い分けよう

これは、自宅でもオフィスでも避難所でも共通の対策で、すべての人が知っておく必要があります。すぐに取り付けられるように、携帯トイレをトイレ内に備えておくことも大切です。

トイレが大丈夫かどうかで、災害時の生活は大きく変わります。トイレ問題を中心に、災害時のルールについて家族や自分の地域・マンションなどで話し合っておきましょう。

分だけゴミになります。携帯トイレだけに頼るのには無理があります。そのため、災害時には、トイレを使い分けることをおすすめします。例えば、昼間は仮設トイレやマンホールトイレなどを使い、夜間、子どもや女性、足腰が悪く外出できない場合は携帯トイレを使うことです。

避難所では「水分を摂ってください」と呼びかけていますが、行きたくなるようなトイレを整備すれば、皆、水分を摂るようになるのではないのでしょうか。2つ目は、不衛生な環境による被害です。普通の生活をしていれば感染しないような菌やウイルスにも、免疫力が下がっていれば、感染しやすくなります。トイレも

精神的ストレスで弱っています。このような状況で水分や食事を摂らなければ、体調は一気に悪化します。脱水、低体温、血圧上昇、免疫力低下などで、脳梗塞や、心筋梗塞、肺炎などの病気になり、災害関連死に至ることもあります。



詰まって使用できないトイレ

災害時のトイレ対策は初動がポイント

災害時のトイレは設備の問題として捉えられがちですが、実は「いのち」に関わる問題なのです。災害時のトイレは設備の問題として捉えられがちですが、実は「いのち」に関わる問題なのです。

トイレ対策は初動が重要なポイントです。熊本地震後にアンケート調査したところ、発災後6時間以内にトイレに行きたくなったと回答した人が73%でした。このとき水を飲んでいる人はあまりいないはずですが、それでも6時間以内にトイレに行きたくなる。つまり、トイレ対策はスピードが大事なのです。

水洗トイレは使えなくなる可能性が高いので、真つ先に携帯トイレを取り付けましょう。水が出ない便器に1人でも排泄してしまつたら、排泄物を取り除くことは容易ではありません。もし、水洗トイレが使えることがわかつたら、携帯トイレを外せばいいのです。

あなたにもできる！ 3つのトイレ対策

その1

自分の排泄を知3

1日何回トイレに行くか、家族みんなで調べてみましょう。いざという時のために、携帯トイレも使ってみよう。

その2

自宅について知3

自分の家は下水道なのか浄化槽なのか、くみ取りなのか、災害時に流しても大丈夫なのか、確認しておきましょう。集合住宅は電気が必要ならポンプで給水していることが多いため、「停電＝断水」。断水したらトイレも使えなくなります。

その3

地域の防災を知3

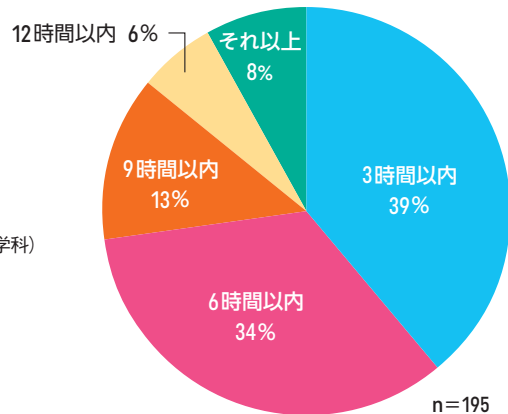
避難所はどこにあるのか、また、自分の住んでいる地域のトイレ対策について調べておきましょう。避難所では災害用のトイレを備えているか、そのトイレはどのように使うのか。知ること、必要な対策も見えてきます。

災害時のトイレについて詳しくは下記サイトを参照！
「災害用トイレガイド」 <https://www.toilet.or.jp/toilet-guide/>

避難生活におけるトイレに関するアンケート

発災から 何時間でトイレに行きたくなったか (熊本地震)

実施主体：岡山朋子（大正大学人間学部人間環境学科）
協力：NPO法人日本トイレ研究所





JRC OMORI HOSPITAL

大森赤十字病院

■所在地 〒143-8527 東京都大田区中央4-30-1
■連絡先 Tel 03-3775-3111 (代表)
■休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(急患は随時)
■病床数 344床(一般326床、ICU・CCU 6床、HCU 12床)

第一外科部長

中山 洋

Hiroshi Nakayama

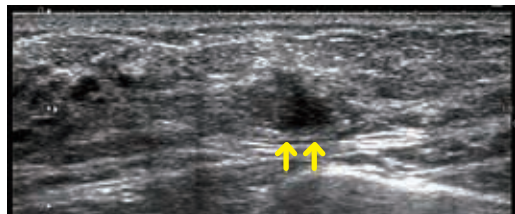


乳房の痛みは乳がんか？

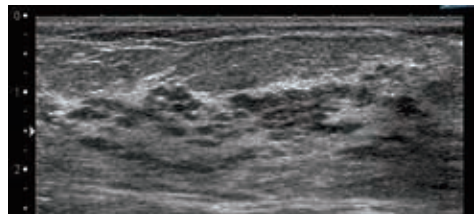
乳腺外来では、「乳房に痛みがあるので、乳がんが心配」と受診される方は意外と多いもの。今回は、乳房の痛みと乳がんについて紹介します。

乳房の痛みとして、もっともあ
りふれているのは、いわゆる生理
(月経)前後付近で経験されるも
ので、エストロゲン・プロゲステ
ロンといったホルモンの変動に伴
うものとされています。
痛みは、やはり気になるものな
ので受診動機になることは多く、
日本ではこのような状態に「乳腺
症」という病名を当てています。
張りやしこりを感じることもあり
ますが、本質的には病気ではなく、
ほとんどのものは治療の対象とは
なりません。
がんの可能性は30人に1人
気になるがんとの関係について
ですが、基本的に乳腺症はがん化
しないと言われています。
しかし、マンモグラフィーでは
乳腺が比較的濃く写るため、しこ
りがあってもわかりにくく、また
乳腺エコーでも、乳腺が白と黒の
まだら模様で写るので、小さな病
変があってもわかりにくいのは事
実です。
乳房に痛みがあって受診された

方に実際にがんが発見される率は
1.5〜3%程度というデータが
あります。「30人受診しても29人
は大丈夫」と思うと、少しは安心
できるのではないのでしょうか。こ
れは、しこりがあって受診された
方と比べると、およそ10分の1程
度と言われています。
標準的治療を地元で
大森赤十字病院の乳腺外科・外
科では、地域の皆さんのニーズに
応えようと、「乳がんの標準的治
療が地元で安心して受けられるこ
と」をめざしています。
乳がんは、経過の中で時には体
調がすぐれないことも起きます
し、完治の判断に至るまでは5年、
10年という時間が必要な病気で
す。そのため、通いやすい病院で
治療することのメリットは多くあ
ります。私たちは、患者さん一人
ひとりのご要望を伺いながら治療
方針を組み立てていくよう心がけ
ています。「通いやすく、相談し
やすい病院でありたい」とスタッ
フ一同、頑張っています。



エコーで描出された小さな乳がん(矢印部分、8mm)。このく
らいの病変であれば見つけやすいが、ごく小さな病変が乳
腺症の中に紛れていると見つけにくい



乳腺症のエコー像

乳腺症とがんの関係



JRC MUSASHINO HOSPITAL

武蔵野赤十字病院

■所在地 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1
■連絡先 Tel 0422-32-3111 (代表)
■休診日 土曜、日曜、祝日、5月1日(赤十字創立記念日)、年末年始
■病床数 611床(一般528床、ICU 8床、HCU 22床、GICU 6床、SCU 9床、
NICU 6床、GCU 12床、感染症20床)

外科部長

入江 工

Takumi Irie



頼りにしていただける外科に

皆で学び、成長しています！

武蔵野赤十字病院の外科の基本方針は、救急疾患に迅速かつ適切に対応すること、
地域がん診療拠点病院として消化管・肝胆膵がん診療を充実させていくことです。

救急疾患に関しては専門性を問
わず全員で、迅速に適切な治療法
を選択して、各自の専門性を発揮
しながら診療を行っています。
当院では低侵襲(傷が小さく、
体への負担が少ない)治療の充実
をめざし、大腸がん・直腸がん・早
期胃がんに対して、腹腔鏡下手術
(カメラを使った手術)を積極的に
行っています。
高い専門性と技術力
大腸がん・直腸がんは腹腔鏡補
助下大腸切除や直腸切除・切断術
をはじめ腹腔鏡下人工肛門造設術
など、早期胃がんについては腹腔
鏡補助下幽門側胃切除、噴門側胃
切除、胃全摘、バイパス術など、高
い専門性と技術力によって、安全
かつ確実な手術を実現していま
す。また、当院では手術前から積極
的な栄養管理を行い、術後の摂食
障害など合併症の減少化を推進し
ています。肝胆膵がんでは、手技
の標準化により、さらに安全で確
実な手術を提供することが目標で
す。

加えて、近年増加している難治
がんである膵がん治療の充実を
図りたいと考えています。手術適
応や術後補助療法、再発治療に関
しては、腫瘍内科医とキャンサー
ボード(カンファレンス)を毎週
行っています。
チームワークを重視
外科の大切な柱として、「教育」
「学び成長すること」「チームワー
ク」を充実させていくことを重視
しています。臨床研修医や若手外
科医の教育は、外科にとつて最も
重要な柱です。魅力があり満足度
の高い外科教育施設になることを
めざしています。
外科医自身が自分の仕事の目標
を持ち、専門性を高め、腕を磨き仕
事を楽しめる環境作り、そして、自
信を持って患者さんや連携医の皆
さんに外科医療を提供できる環境
を整備したいと考えています。
個人の力だけでは限界があり
ますが、お互い協力して支え合う
チームワークがあれば、「不可能」
は「可能」になると信じています。



腹腔鏡を使った手術のようす



外科医療に携わる当院のスタッフたち

Hospital
Referral

Hospital
Referral



JRC KATSUSHIKA MATERNITY HOSPITAL

葛飾赤十字産院

- 所在地 〒124-0012 東京都葛飾区立石5-11-12
- 連絡先 Tel 03-3693-5211 (代表)
- 休診日 日曜、祝日、年末年始
- 病床数 113床 (産婦人科68床、NICU・GCU等45床)

副院長

鈴木俊治
Shunji Suzuki



産科オープンシステムの活用を

安全で快適なお産をめざして

産科のオープンシステムをご存知でしょうか？ 妊婦健診は個人診療所などで受診して、分娩は病院で行うシステムのことです。

オープンシステムは、原則として診療所の医師あるいは助産師が分娩に立ち会い、治療方針の決定も行います。これに対して、分娩の立ち会いや治療方針の決定を病院側が行うものをセミオープンシステムといいます。

当院では、妊婦さんの利便性や快適性のために、地域の開業助産師たちとはオープンシステムで、個人診療所の医師たちとはセミオープンシステムでそれぞれ連携を行っています。

助産師や診療所と連携しながらサポート

例えば、「分娩が順調に進行して母児ともに問題なければ、医療介入なく気心の知れた助産師さんに診てほしい。でも、何か起きたら早めに治療してもらえないような体制がいい」という場合に、オープンシステムの対象になります。

妊婦健診のうちの数回を当院で受診していただき、超音波検査や血液検査などで異常が指摘されていないことが利用の前提条件にな

りますが、年間20〜30人の妊産婦さんが利用しています。

一方、当院での分娩を希望しているものの、妊婦健診のため10数回も当院を受診することが難しい方は、セミオープンシステムの対象になります。

予定日まで3回程度の妊婦健診を当院で実施させていただき、それ以外は自宅近くの個人診療所で妊婦健診を受けていただくことになります。また、分娩を取り扱っていない個人診療所は夜間閉まっていることが多いため、共通診療シートを作成して、夜間にトラブルが起きた場合などは、いつでも当院がスムーズに対応できるようにしています。

まだまだ進化中！

これからも、分娩の安全性と妊産婦さんの快適性を保つために、当院の機能や特徴を生かした診療システムを工夫していきたいと考えています。魅力的なアイデアがありましたら、ぜひお聞かせください。



共通診療ファイルで緊急対応をスムーズに



情報共有で、よりよい運営をめざします

Hospital
Referral

東京都赤十字血液センターで「ラクロス献血」

1400人以上が来場。仲間の未来のために行動を！



終始途切れることなく来場いただきました

—— 日本学生ラクロス連盟
昨年比200人増を達成

3 月27日から29日の3日間、東京都赤十字血液センター（新宿区若松町）で、日本ラクロス協会および日本学生ラクロス連盟東日本支部による「ラクロス献血推進活動（通称・ラクロス献血）」が実施されました。この活動は、献血者が減少しがちな春先に、ラクロス選手や関係者が、社会への感謝を表すために取り組んでくださっているものです。この活動について、同連盟東日本支部の中村鮎人広報委員長（国士舘大学ラクロス部所属）にお話を伺いました。

の主な活動は？



中村委員長（左）と担当職員

地上最速の格闘球技である「ラクロス」の大会運営や競技普及を行っています。私が担当する広報は、ラクロスを地域や大学で宣伝することが活動の中心で、ラクロス献血の成功も私の責務です！

—— ラクロス献血に向けてどのような準備を？

まず、全加盟校に事前募集を実施しました。あわせて、各大学の主将に、「なぜ献血が必要なのか」を周知してもらいました。今年度の目標は「昨年度の来場者数を上回る」です。

—— おかげさまで、昨年度より200人増の1436人の来場を達成しました。

無事に終わって正直ホッとしています。ラクロス献血は毎年取り組む恒例行事に

なっていて、選手や関係者たちも抵抗なく協力してくれているように思います。今回、新たに骨髓バンクの説明会と登録会も実施しました。もっと献血者を呼ぶことができたのではないかと、いう反省もありますが、今後も盛り上げていきたいです。

“友人と一緒にきつかけに献血しよう”

—— いま、日本では若年層の献血者数が伸び悩んでいます。

献血をしたことがない人は他人事のように感じているのでは？ 献血の大切さを知る機会があれば、もっと増えると思います。中高生の頃から献血の意識を学ぶことも必要かなと思います。

—— 同世代に向けて一言お願いします。

1人で献血に行くのが心細かったら、友人と一緒に行ってみてもOK。多くの仲間の未来のために、みんなで行動しましょう！



事前募集で多くの大学へ参加を呼びかけ



献血後の休憩時の一コマ



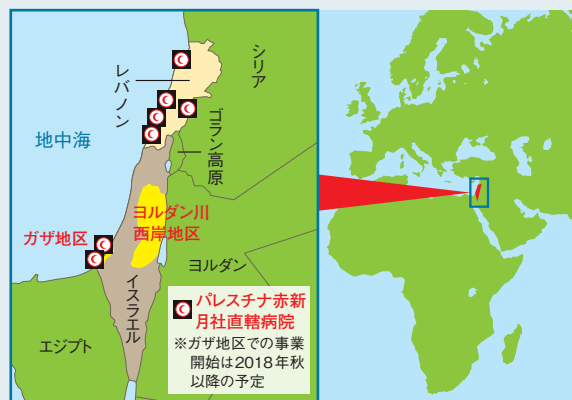
職員と綿密な打ち合わせを行う中村委員長

長い難民生活を送る人々を救いたい

～パレスチナ赤新月社の医療支援～



パレスチナ赤新月社（パレスチナの



を派遣し、救急医療や新生児集中治療
室の医師および看護師の能力開発など
の支援を行う予定です。現在、日本赤
十字社医療センターの藤田好美看護師
がレバノンで活動を始め、「病院の皆さ
んは強く優しく笑顔が素敵な方々ばか
り。少しでも役に立てるよう頑張りま
す」と語っています。

がなく市民権、財産権も奪われ、厳し
い就労規制を課せられ、移動の自由も
制限されています。首都ベイルートの
キャンプはとりわけ狭く、水や電気な
どインフラも整っていない状況です。

病院の専門性向上をめざす

パレスチナは、ヨルダン川西岸地
区とガザ地区に分かれており、
1994年以来「パレスチナ自治区」
とされ、「パレスチナ自治政府」が存
在しています。ガザ地区の約7割は難
民で、散発する武力衝突、検問所によ
る生活の分断と移動の自由の制限によ
り、仕事、教育、医療などへのアクセ
スが厳しく制限され、
人々は国連や支援団
体からの援助を受け
て生活しています。

赤十字社は、ガザ地区やレバノンに
7つの病院と8つのヘルスセンターを
運営していますが、医学教育制度がな
く、特定の専門科の医師や看護師がい
ないなど問題が多くあります。
こうしたなか、パレスチナ赤新月社
は日本赤十字社に、直轄の病院の医療
技術向上を目的とした医療プロジェクト
を要請。こ
れを受けて日
本赤十字社は、
2018年4
月からプロジ
エクトを開始
しました。ガ
ザ地区・レバ
ノンにおける
パレスチナ難
民の保健医療
サービスを改
善することを
目的に、各地域
に医師、看護師



病院スタッフと連携を図りながら活動中の藤田看護師



藤田看護師が活動するレバノンのハイファ病院

赤十字国際ニュースのメー
ルマガジンに登録しません
か？ 定期的にニュースが
お手元に届きます。登録・
閲覧はこちら↓



赤十字国際ニュース
(まぐまぐ)

武蔵野赤十字保育園

リクガメがやって来た！ 楽しみな「カメ当番」



カメ当番の仕事、
無事完了！



“ひかり”も
“るんるん”も、
たくさん食べてね

武蔵野赤十字保育園では、昨年10月からリクガメ2
匹の飼育を始めました。年長クラスの子どもたちが、
週替わりで飼育当番をしています。

カメの名前は“ひかり”と“るんるん”。年長さんたちが
何日も話し合って決めました。園児たちはうれしそうに、
「“ひかり”は背中にダイヤの模様があって、お家が大好き。
よく寝てる。るんるんより大きい！」「“るんるん”は背中
に丸い模様があって、朝は寝坊助だけどよく動く。食べる
ことがだ〜い好き」と教えてくれます。

当番は小さい園児の憧れ

カメ当番のお仕事は、まずゲージの鍵を開けるところか
ら始まります。先生から鍵を渡された園児は、わくわくど
きどきしながら鍵を開けます。責任重大です。その後はゲー
ジの中の掃除、水替え、えさやりです。これらはカメ当番
の園児たちが、分担して行います。

園児たちの安全上、カメ当番をしている時だけ、カメに
直接触れることができるというお約束にしているので、4
歳児や3歳児、乳児クラスの園児からすると、うらやましく、
早く年長さんになりたくて仕方がないようです。

赤十字子供の家

小学生たちとの生活が スタートしました！



これまで2歳から6歳のお子さんの入所を中心として
いた当園ですが、本園施設の改築移転に伴い、平成
30年度より就学以降のお子さんの受け入れも行うことにな
り、本格的に学童化をスタートすることとなりました。

右往左往しながらも

現在は3人のお子さんが小学校に通学しながら、本園で
生活をしています。小学校となると、生活リズムもかなり
変わってくるため、子ども自身も職員側も今までと違うこ
とも多く、戸惑う事がありますが、子どもたちと切磋琢磨、
時には右往左往しながら日々の生活を送っています。

写真(上)は、ある日の登校のようすです。まだ登校に慣れ
ない子もありますが、学校までの道順を確認しながら登校して
います。日を追うごとに慣れてきて、お友だちとうれしそう
にあいさつする姿も見られます。

写真(下)は、野球をするようすです。遊びのようすも幼児
とは少しずつ変わってきていて、キャッチボールやバドミン
トン、サッカーなどをして遊んでいます。

子どもたちの変化に一生懸命ついていきながら、職員自
身も楽しめたらなと思っています。



登校にも
慣れてきたよ！

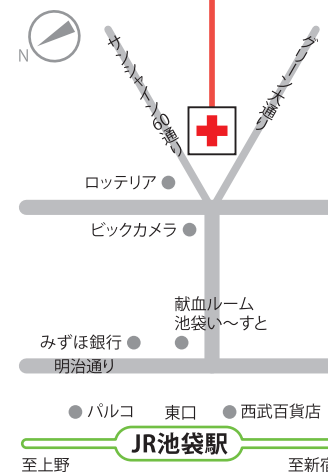


野球で
遊んでいる
ところ

OLレポーターオカモト★日赤とつげきレポ 紹介献血ルーム



献血ルーム 池袋ぶらっと



🕒 受付時間

- ▶ 成分献血
10:00～17:00 (昼中断なし)
- ▶ 400・200mL
10:00～18:30 (昼中断なし)

☎ 電話

03-5950-3000 12月31日・1月1日

📅 定休日

📍 場所

〒170-0013 豊島区東池袋1-12-8 フジキビル3階

NT Vol.18
2018年7月発行
NISSEKI TOKYO

■発行・編集・デザイン／日本赤十字社東京都支部
〒169-8540 新宿区大久保1-2-15 Tel:03-5273-6747 (総務部企画課直通)
※本誌掲載の記事・写真・イラストなどの無断転写(コピー)、複製(転載)を禁じます。
※本誌に掲載されている情報は、発行に伴う情報収集時点での情報を含みます。その後の内容に変更が生じる場合もありますので予めご了承ください。
ホームページ: <http://www.tokyo.jrc.or.jp/>
Facebook: <https://www.facebook.com/redcrosstokyo/>
年4回発行(4月・7月・10月・1月)
日本赤十字社東京都支部にご寄付いただいた方に郵送でお届けしているほか、都内の赤十字病院及び献血ルーム・献血バス等の献血会場でも配布しています。

バックナンバーはホームページでも
ご覧いただけます。

日赤 NT

検索



赤十字 Supporters

「赤十字の一員で良かった」 人命救助の現場に立ち会って

高津真弓さん（赤十字幼児安全法・水上安全法指導員）

も

もとは水泳の指導員。その縁で10年ほど前、水上安全法救助員の資格を取ったのが赤十字との出会いです。現在は、幼児安全法と水上安全法の指導員として人命救助の大切さを伝えています。そんな私が、実際に人命救助に関わるとは思ってもみませんでした。

今年2月25日、日本スポーツ協会公認水泳指導員の資格更新の研修日でした。一次救命処置の振り返りと実技講習後の帰宅中の電車で、心肺停止で倒れた方に遭遇しました。東武東上線池袋駅で、大柄で恰幅のいい男性が倒れていたのです。看護師らしい小柄な女性が胸骨圧迫をしようとしているのですが、ためらっているようでした。思わず、「私、胸骨圧迫できます」と名乗り出ていました。

男性の顔は灰色で手も青く、口からは泡を吹いていました。



「人生は一度きりなので、興味を持ったことは何でもやるようにしています」と語る高津さん



今回の救護活動に対して日赤社長表彰状を受賞

「助かるのは嬉しいかもしれない」と正直思いました。それでも、救急隊が到着するまでの約10分間、胸骨圧迫を続けました。救急隊の到着直前、「うーん」と言っ

て男性は息を吹き返しました。顔や手の色も肌色に戻り、心の底からほっとしました。

人命救助を教える立場の私も、生身の人間に救命処置をほどこすのは初めて。とにかく必死でした。赤十字の一員として人命救助のお役に立てたことをうれしく思っています。

指導員になるにあたり赤十字のことも学びましたが、「人道」ってやっぱりいい。苦しんでいる人や困っている人を分け隔てなく助ける。そこに共感しています。赤十字の指導員として研修を続けていなかったら、今回のような時に一歩踏み出す勇氣は持てなかったかもしれません。

今後、受講生から「生身の人間と人形との胸骨圧迫は違いますか？」と質問された時には、今回の自身の経験も伝えていきたいですね。いざという時は突然やってきます。その時に一歩踏み出す勇氣をどなたにも持つていただければと思います。

活動資金協力者(社)・団体のご紹介

皆様のご協力により日本赤十字社の活動は支えられています。
活動資金のご協力、誠にありがとうございました。

※10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了承いただいた個人、法人および団体等を掲載しています。

活動資金協力に関するお問合せは
東京都支部 振興課 03-5273-6743まで

●千代田区	
サンフロンティア不動産(株)	100万円
(株)朝日写真ニュース社	30万円
太平電業(株)	20万円
中日マテリアル(株)	20万円
(株)NISSO	11万6,043円
日本エンゼル(株)	11万4,750円
(税)市川税務会計事務所	10万円
(株)インフォーム	10万円
ウェブスペース(株)	10万円
サンベック(株)	10万円
日軽エムシーアルミ(株)	10万円
(株)ノタック	10万円
●中央区	
岩上 公一	10万円
大地 カウ	10万円
梶原 幹雄	10万円
田村 恵津枝	10万円
竹馬商事(株)	30万円
栄香料(株)	10万円
(株)タウンハウジング	10万円
日本カーボン(株)	10万円
(株)モーリ	10万円
(株)レヴェル	10万円
日本橋三丁目西町会 会長 野田哲平	20万円
●港区	
松岡 孝明	400万円
中江 宏	70万円
木村 真一	10万円
(株)ジェイビーホンダエージェンシス	100万円
イーパートナーズ(株)	30万円
(一財)世界聖典普及協会	30万円
ソレイジア・ファーマ(株)	10万円
(株)知識経営研究所	10万円
日本フレーザー工業(株)	10万円
(株)日ノ樹	10万円
(株)プライム・オリジンズ	10万円
ミツワシステムズ(株)	10万円
●新宿区	
下島 博雄	50万円
出井 弘八	10万円
小澤 勇夫	10万円
ライオンズクラブ国際協会330-A地区	140万円
(株)OEC	10万円
医療法人社団 豊済会	10万円
●文京区	
佐藤 勝彦	10万円
杉田 良之	10万円
根津 博俊	10万円
トリヤマ(株)	20万円
(株)ティー・シー・エス	15万円
●台東区	
野口 香代子	10万円
匿名	10万円
石福ジュエリーパーツ(株) 取締役会長 橋本養三	30万円
(株)ダイリン	10万円
玉姫稲荷神社 こんこん靴市実行委員会	10万円
●墨田区	
木塚 靖夫	20万円
木塚 秀江	20万円
武田 紀久江	20万円
角谷 かつみ	10万円
(株)ゴトウ	10万円
●江東区	
北島 松太郎	30万円
藤村 小弥太	20万円
(株)システック	200万円
(株)秋朝工業所	20万円

●品川区	
菅野 鴻三	10万円
(株)日立ソリューションズ・クリエイト	10万6,724円
堀正工業(株)	10万円
●目黒区	
日野 儀光	50万円
(株)システムサイト	10万円
(株)昭和イーティング	10万円
●大田区	
池野 公脩	100万円
尾曾 利夫	10万円
蓮光院	100万円
嵯峨電機工業(株)	30万円
(株)サガデン	10万円
東京マルコメみそ販売(株)	10万円
●世田谷区	
寛 千つる	10万円
(有)パルメイト	10万円
世田谷区赤十字奉仕団上町分団	10万円
●渋谷区	
(株)前田	300万円
(株)メタボリック	300万円
●中野区	
戸原 章子	15万円
佐藤 みゑ子	10万円
(株)サンライズ	50万円
TCC日本語学校	10万円
●杉並区	
本橋 忠藏	25万円
岡部 好延	10万円
コムシスエンジニアリング(株)	10万円
●豊島区	
王 愛芹	20万円
佐伯 弘子	20万円
山田 斗八	10万円
東京都民共済生活協同組合	4,000万円
首都開発(株)	50万円
メルスモン製薬(株)	10万円
●北区	
金子 二四男	10万円
(株)ヒューマンリンク	10万円
●荒川区	
匿名	100万円
根津鋼材(株)	100万円
(株)ジョイフル	11万9,000円
●板橋区	
瀬戸川 睦人	100万円
(有)エヌティ・エイト	10万円
●練馬区	
横山 浩之	100万円
安藤 幸子	10万円
内田 正弘	10万円
高原 正雄	10万円
(株)角産	20万円
金子建材(有)	20万円
●足立区	
増山 元美	240万円
小倉 伸一	50万円
梶 富美子	30万円
鈴木 惣八	20万円
堀内 秀晃	10万円
(有)タミヨ窓建	20万円
●葛飾区	
小倉 茂	310万円
石川 良夫	10万円
酒井 照子	10万円
月村 泰之	10万円
石川生コン(株)	30万円

(有)石川興業	10万円
(株)稲葉製作所	10万円
神田製作所 八親会 会津和俊	10万円
●江戸川区	
嶋田 慶三	10万円
宮原 明	10万円
(株)水域ネットワーク	20万円
関東商事(株)	10万円
(有)中代経営	10万円
(有)明和ビルサービス	10万円
(有)メディネット	10万円
●八王子市	
齋藤 元泰	20万円
高津戸 道夫	20万円
早川産業(株)	10万円
●立川市	
中村 智英子	11万円
金子 利津子	10万円
中村 陽子	10万円
鳴島 幸枝	10万円
●武蔵野市	
山崎 喜哲	10万円
●青梅市	
片山 宗弘	50万円
片山 恵利	50万円
浜中 教孝	20万円
三和工機(株)	20万円
●府中市	
大内 勝美	50万円
高橋 勇	10万円
●調布市	
魚返 美智代	210万円
ユウキ食品(株)	40万円
(株)オリヴ ドゥ リュック	10万円
●町田市	
近藤 徳彌	100万円
武川 節	100万円
匿名	100万円
笠井 和雄	12万円
●小金井市	
楊 永航	50万円
小金井市赤十字奉仕団	13万3,200円
●小平市	
小林 守久	10万円
(有)小平典礼	10万円
●東村山市	
中村 豊一	30万円
●国立市	
北島 洋子	100万円
保科 寛之	10万円
●西東京市	
(有)スタジオトゥインクル	30万円
ムサシノ製薬(株)	10万円
●福生市	
大熊 信博	30万円
●狛江市	
高木 和江	10万円
●清瀬市	
コーヒーハウスるぼ	10万円
●武蔵村山市	
(有)ワタヤ	10万円
●多摩市	
平田 千恵子	20万円
●稲城市	
中西食品(株)	10万円
●羽村市	
西多摩農業協同組合	10万円

(敬称略・順不同)



Present



日本赤十字社東京都支部の協賛企業様からご提供いただいています。ご応募、お待ちしております！

A.

3名様



コインケース
ダイアナ株式会社

トライアングル型レザー型押し小銭入れです。2箇所ポケット付き。日本製。オーク型押、グリーン型押、ブルー型押の3種類からいずれか1つ。(色は選べません)

メールからのご応募限定

B.

450ml PET
24本入り
5名様



キリンレモン
東京キリンビバレッジサービス株式会社

キリンレモンは1928年3月16日に発売し、今年で90周年を迎えます。「キリンレモン」を飲んだことがある方は、懐かしい思い出とともに、まだ飲んだことがない方も、新しく生まれ変わった「キリンレモン」をお楽しみください。

メールからのご応募限定

C.

525ml PET
24本入り
5名様



ワンダ TEA COFFEE ブラック×煎茶
アサヒ飲料株式会社

“茶葉香る”リフレッシュコーヒー。コーヒーに茶葉を掛け合わせたスッキリとした後味のコーヒーです。コーヒー本来の味わいと茶葉の香りや清涼感を楽しめる、ゴクゴク飲んでリフレッシュしたい時にふさわしいコーヒーです。



プレゼント応募方法



①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④年齢 ⑤性別 ⑥メールアドレス
⑦本誌入手場所 ⑧本誌でよかった記事(複数回答可。メールの方は、はがき記事一覧から番号でご回答ください) ⑨本誌の感想(100文字程度) ⑩希望するプレゼント番号を明記し、**メール**または**はがき**でご応募ください。抽選でプレゼントが当たります！
締切は**2018年8月31日**必着。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

メール

nissekitokyo@tokyo.jrc.or.jp

件名には「プレゼント応募」とご記入ください。

はがき

添付の専用はがきでご応募ください。

※いただいた個人情報はプレゼントの発送および当支部からの連絡のみに使用します。お寄せいただいたご意見・ご感想は個人が特定できないよう配慮したうえで当支部が行う広報に活用させていただきます。製造状況等によりプレゼントの内容が変わる場合もございます。

読者の声 (vol.17)



平成30年度の事業計画のキーワードが「地域」ということで、興味深く読ませていただきました。東京では個々人それぞれがバラバラで、「地域」を意識する機会はありませんが、自分も「地域」を構成する一員であることを自覚し、積極的に地域の中で交流していきたいと思いました。

東京都・36歳・男性(紅葉丘文化センター)

久しぶりに献血して本誌をいただきました。記事のなかで、赤十字が子供の家も運営していると初めて知りました。新しい施設は、家庭的で安心して過ごせそうですね。子供たちが健やかに過ごせますように。

東京都・38歳・女性(献血会場)

日本赤十字の活動はこんなにも幅広いのか!となりました。日頃、献血だけとの接点ですが、人を支える活動のどこかで日本赤十字があるんだと気づききっかけとなりました。NTを通じて知らない世界を知ることができるので、これからも誌面を楽しみにしています！

埼玉県・32歳・男性(有楽町献血ルーム)

「赤十字Supporters」榎本美智子さんの「健康な体をもらったのだから世のために役に立てたい」という言葉に深い感銘を受けました。毎日忙しく会社で働きづめで何かを失っている自分に対して、人生で大切なことに気づかせてくれました。

東京都・27歳・男性(献血ルーム池袋い〜すと)

赤十字は、 ジミチです。

「赤十字の活動は広すぎてわかりづらい。」
と言われることがあります。

赤十字の活動は、国や状況、理由、活動の種類を
限定しません。対象は全世界の苦しむ人々です。

確かに、エリアや対象となる人々を限定して緊急性
を訴えるほうが社会の目に届きやすく、理解され
やすいかもしれません。

しかし、赤十字は世界最大の人道機関。

その組織力があるからこそできることがあります。

緊急時の支援は当然のこと、すべての脅威から
人々を守るために全世界で活動しています。

もちろん、国内でも医療や献血、そして大災害に
対する取り組みなど、皆さまの身近なところで
活動しています。

命を守るために必要であれば、スポットライトが
当たることのないジミな活動も大切にする。

これが赤十字のジミチです。

—— 皆さまからお寄せいただく活動資金はこのようなところでも活用されています。——

¥2,000で

災害時、避難所などで就寝する際
に役立つ

安眠セット



※安眠セット、緊急セットは販売していません。

¥3,000で

避難所生活を余儀なくされた時に
必要となるアイテムが収納された

緊急セット



¥5,000で

地域の防災・減災の担い手として
期待される青少年向けに実施する

災害学習プログラム



¥10,000で

災害救護の知識と技術を習得し、
災害時に活動する

災害救護ボランティアの養成(1名)



安定的なご支援をいただくことで、災害に対するより充実した事前の備えが実現できます。

赤十字では地域でのご協力や銀行振込のほかに、口座振替やクレジットカードでのご協力も受け付けています。

口座振替でのご協力

2,000円以上の金額で毎月または毎年、ご指定の口座からお振替します。
(口座振替をご希望の方は地域推進課03-5273-6742までお電話ください。申込
書をお送りいたします)

クレジットカードでのご協力

2,000円以上の金額で毎月・毎年・その都度ご協力いただけます。

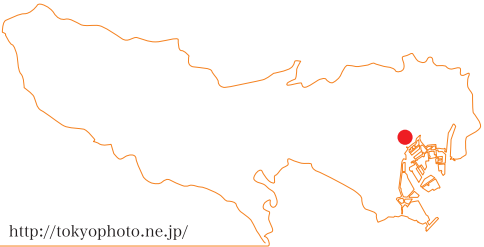
赤十字 クレジット 寄付 [検索](#)



+ 東京観光写真倶楽部 TOKYO SIGHTSEEING PHOTO CLUB

写真とはまさに「光を観ること」。東京を〈観光〉しながら撮影を楽しむことを目的とし、2005年に発足した同倶楽部は、東京諸島を含む都内各地で撮影会を開催している。部長を務めるのは、日本赤十字社契約写真家である菅原一剛氏。東京の写真を撮り続けている同倶楽部とコラボレーションした連載が、Rediscovery TOKYOです。

菅原 一剛HP <http://ichigosugawara.com/> 東京観光写真倶楽部 <http://tokyophoto.ne.jp/>



第11回 中央区・築地

築地は現在、取引金額において世界最大規模の卸売市場であり、国内外から観光客が押し寄せる観光地でもある。その築地市場の、豊洲への移転が今年10月に決定した。

現在の形の築地市場が開設されたのは1935年。蜘蛛の巣のように張り巡らされた配線越しに見上げる場内の天井。そこから差し込む光が、市場で働く人々や荷物運搬用のターレーが何十年も行き交ってきた石畳をぎらぎらと光らせる。雑然とした中に存在する、ある種の秩序。そしてこの“築地”で働くことへの誇り。ここには「時間」にしか作り上げることのできない「場」のエネルギーが満ちている。

以前、廃業した醤油や味噌の蔵を見学したことがある。その時、蔵にはそれぞれ酵母や菌が住み着いていて、同じレシピで作っても蔵が変わると同じ醤油や味噌はできないと聞いた。

「時間」と「場」にしか醸すことのできないものがある。

2005年10月に倶楽部が初めて訪れてから13年。築地市場83年の歴史が醸し出したものを、私たちは5回の撮影会でどれだけ掬い上げられたらうか。

赤十字職員から NT 読者の皆さんに、お役立ち情報をお伝えする「職員通信」を始めました！ 第1回は、水上安全法の推進に長年取り組んでいる三井俊介職員がお届けします。

職員通信 Vol.1

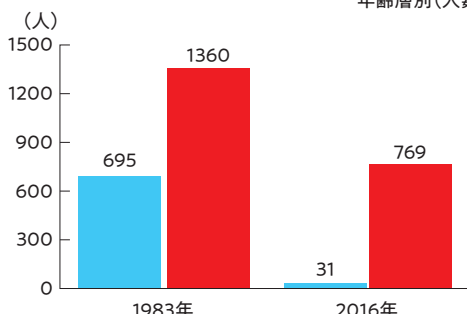
おとなも注意！

不慮の落水には『着衣浮き』

夏 が本格化するこの季節は、水の事故が多く起きます。そのほとんどは、衣服を身に着けた状態での事故です。こうしたことから近年、小学校で着衣泳として学ぶ機会が増えています。その成果もあってか、子どもの水死者・行方不明者の数は大幅に減少しています。

しかし、水の事故は子どもにだけ起るものではありません。むしろおとなに多くの犠牲者が出ているのが現状です。おとなの皆さんも、ぜひ着衣浮きについて知ってください。

1983~2016年 約30年間の水死者・行方不明者推移
年齢層別(人数)



■ 子ども(中学生以下)

■ おとな(高校卒業相当年齢以上)

※警察庁資料より

水に落ちてしまった時は…

衣服と靴を味方につけて助けを待とう！

- 顔は真上に向ける。空を見よう！
- 両腕は頭上に伸ばした姿勢
- 衣服や靴は泳ぐには邪魔者。

しかし！呼吸をするため浮くには、心強い味方になる



今回、お届けしたのは…

三井 俊介 みつい しゅんすけ

日本赤十字社東京都支部で長年、指導者として講習普及事業に従事。「水の事故の犠牲者として“おとな”は見落とされがちですが、統計を見てもわかる通り、決して他人事ではありません。子どもだけでなく、おとなにも悲しい事故が起きませんように。赤十字の講習をオススメします！」

今回ご紹介する知識を動画で紹介しています



WEB CROSS

電子講習室



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

東京都支部

〒169-8540 東京都新宿区大久保1丁目2番15号
TEL 03-5273-6741 (代表) FAX 03-5273-6749 <http://www.tokyo.jrc.or.jp>

Facebook も見てね！

